

初 任 教 育

初任教育は、新たに採用した消防職員の全てに対して行う基礎的訓練をいいます。

本校では、神戸市を除く県内市町消防本部の新任消防士を対象に、4月から9月までの6ヶ月間で実施しています。

初任教育の主な行事とその内容は次のとおりです。

入校式



6ヶ月間の教育訓練の開始にあたり、教育生代表が、学校規則の遵守、教育訓練への専念、教育生の本分を尽くすという宣誓を行います。

御坂体練



消防職員としての基礎体力及び厳正な規律を体得させることによって、教育生の士気高揚と精強な隊員の育成を図ることを目的として、兵庫県内の現役救助隊員の指導による体力錬成を行います。

強歩訓練



林野火災を想定し、各自が消防用ホースを携行して山道を含む約25kmの行程を歩行するとともに、班、小隊及び中隊の組織単位での行動を通じ、協調精神の醸成と体力の錬成を図る訓練です。

県市合同体力錬成会



兵庫県消防学校と神戸市消防学校の初任教育生が合同で訓練を実施し、互いに入校時から鍛えてきた体力錬成の成果等を発揮するとともに、両校生の士気高揚と県・市教育生間の団結力を高め、親睦を図ることを目的として実施します。

本年度は、10kmマラソンと訓練礼式・通常点検を行いました。

ポンプ操法大会



ポンプ操法は、消防団員において、消防活動の任務遂行のために、いかなる状況下においても、迅速、確実かつ安全に行動できるように、常に部隊としての連携動作による実技訓練を重ねています。

全国でも最も多くの消防団員を擁する本県では、現在も県内各地で熱心に取り組まれていることから、初任教育生に「操法」を習得し実践させるとともに、管内の消防団員に「操法」を習得させることをめざして操法大会を実施しています。

大規模災害事故対策訓練



社会情勢が複雑多様化し、日々様々な災害が発生するとともに、大規模な自然災害も発生する中で、これらに即応する消防職員には迅速かつ確に災害現場に対応できる知識及び技術、そして災害に立ち向かう強靱な精神力と体力が求められています。

この訓練は、災害が広範囲にわたり、長時間の消防活動が予測される災害現場を想定し、限られた人員及び資機材を最大限に活用した消防訓練を実施することにより、消防職員として必要な精神力及び体力の向上を図り、技術を習得することを目的とするものです。

本年度は瓦礫からの救出、長距離・長時間放水、水防訓練等を行いました。

体育（水泳）



教育生の泳力の向上と水難救助に関する基礎知識の修得を目的として実施しています。

救助訓練



消防における救助活動に必要なロープ結索をはじめ、渡過、登はん、降下等に関する技術の習得及び強靱な精神力と体力の錬成を目的として、兵庫県内の現役救助隊員の指導の下、3日間連続して実施します。

査閲



6ヶ月にわたる初任教育で習得した技術等を活用し、分列行進や観閲等の式典、三連はしご等を用いた機械器具取扱訓練や災害現場を想定した消防活動応用訓練や救助訓練、放水訓練などを行い、消防関係者や家族、一般県民に対して披露する初任教育の集大成です。